



大阪アジアン映画祭 2011 !!第1回コンペティション部門 グランプリ決定!!

2pages

クロージング・セレモニー:3月13日(日)18:30~ ABCホールにて

熱気に溢れるABCホール。

昨晚、来日ゲストらがそろい、クロージング・セレモニーが始まりました。

【表彰式】各賞の結果はこちら。

- グランプリ(最優秀作品賞)/『恋人のディスクール』
- 来るべき才能賞/バンジョン・ピサンタナクーン氏(『アンニヨン！君の名は』監督)
- ABC賞/『アンニヨン！君の名は』
- 観客賞/『一万年愛してる』

下記、受賞結果と、各人のコメントです。

▼観客賞/『一万年愛してる』

- ・北村豊晴監督:あまり喜ぶとなんですが、少しこの場は喜ばせてください。
遠くからも映画を観に来てくれたお客様に感謝しています。

・ペギー・チャオプロデューサー:昨年に引き続き嬉しい賞をいただきありがとうございます。

▼ABC賞/『アンニヨン！君の名は』

- ・バンジョン・ピサンタナクーン監督:賞までいただけ嬉しい限りです。ありがとうございました。
- ・チャンタウイット・タナセーウィー氏(脚本・主演):大阪で上映できたことが嬉しいのに賞までありがとうございます。

▼来るべき才能賞/バンジョン・ピサンタナクーン氏(『アンニヨン！君の名は』監督)

- ・バンジョン・ピサンタナクーン監督:I LOVE 大阪! 2つも賞をいただき、更に夢のようです。ありがとうございます。

▼グランプリ(最優秀作品賞)/『恋人のディスクール』:

- ・デレク・ツアン監督:おおさかあーーーっ!想像していなかったので、本当に嬉しいです。
- ・ジミー・ワン監督:本当に嬉しいです。デレクと一緒にグランプリがどれ、嬉しい思っています。大阪一番!

また、審査委員、ミルクマン斎藤氏からの総評が発表されました。

まず審査にあたって、繰り返し論議されましたのは、脚本の重要性ということについてであります。とりわけデジタル時代においては、フィルムよりも簡単に撮れるがゆえに即興的な映画づくりに流れやすく、結果として全体的なヴィジョンの欠落した作品になってしまうことが多い。脚本というものが映画の要であるとする行定監督、キム・デウ監督からは、とりわけそうしたことについての強い懸念がありました。

最優秀作品賞について審査員3人の見解はあっさり2本に絞られました。その2本とは『恋人のディスクール』、そして『雨夜香港コンフィデンシャル』です。

しかし総合的な完成度という点で一步抜きん出たのが『恋人のディスクール』です。練りあげられた脚本と構成の妙。エピソードごとにトーンを変化させる演出。エンタテインメント性とアート性のあわいを行く、デレク・ツアン氏 & ジミー・ワン氏ふたりの映画づくりに対する意欲がひしひしと感じられます。撮影・音楽等プロダクションの技術の高さ、そしてそれぞれが個性を放つ俳優陣の演技力も素晴らしい、もしアンサンブル演技賞を設けられるとするならばぜひ贈りたいほどだという声も上がりました。

よって「大阪アジアン映画祭 2011」、第1回コンペティション部門グランプリは『恋人のディスクール』に決定しました。

我々の見解では、今回のコンペティションでエンタテインメント作品として見事な完成度に達していたのは『一万年愛してる』と『アンニヨン！君の名は』であります。しかし観客を意のままに操ってみせる作家としての力量、全アジアを席巻する韓流ブームという目のつけどころの面白さ、さらには異国の方で思い切りのいい、大胆な演出をやってのける度胸の良さ(笑)。そうしたことでも含んで一等図抜けていたのが『アンニヨン！君の名は』であり、監督のバンジョン・ピサンタナクーン氏であります。

よって「大阪アジアン映画祭 2011」、第一回コンペティション部門来るべき才能賞は、今後のタイ映画界、アジア映画界の牽引者としてさらに成長して欲しいという願いをこめバンジョン・ピサンタナクーン氏に授与いたします。

ii】クロージング作品『カイト』の上映前に、セレモニー

一足先に作品を観ているサニー・フランシスさんが登場。

軽快なトークのもと、会場を一気にくぎ付け。

その後、『スラムドッグ・ミリオネア』の原作者でもある、ヴィカース・スワループ駐大阪インド総領事がご登壇されました。

大地震の発生した今回の映画祭。

海外からのゲストは、本国の仲間たちに、とても気にされていたと聞きます。

今回は、この東日本大震災の義援金を会場で募りました。

入場者数等、データはまた、追ってお届けします。

引き続きよろしくお願ひいたします。

イベント概要

■名称：大阪アジアン映画祭 2011

■会期：2011年3月5日(土)～13日(日)

■会場：ABCホール(福島)、シネ・ヌーヴォ(九条)

■チケット：前売1000円／当日1200円

(チケットぴあ、セブンイレブン、サークルK サンクスにて発売中。

なお発券上、前売券には別途手数料が必要です)

＜電話予約：0570-02-9999 Pコード：ABCホール 557-512/ シネ・ヌーヴォ 557-511＞

■公式ホームページ：<http://www.oaff.jp>

■主催：大阪アジアン映画祭実行委員会(大阪市、NPO 法人コミュニティシネマ大阪、財団法人大阪観光コンベンション協会、朝日放送株式会社、ぴあ株式会社)

■後援：経済産業省／文化庁／一般社団法人映画産業団体連合会／一般社団法人日本映画製作者連盟／社団法人外国映画輸入配給協会／全国興行生活衛生同業組合連合会／生活衛生同業組合大阪興行協会／大阪商工会議所／FM OSAKA／FM COCOLO

■支援：芸術文化振興基金助成事業

■協賛：日本航空／ディー・エイチ・エル・ジャパン株式会社／パナソニック株式会社／株式会社銀座サクラヤ

■協力：アテネ・フランセ文化センター／一本松海運株式会社／大阪ロケーション・サービス協議会／

サントリーパブリシティサービス株式会社／東京国際映画祭／中之島俱楽部／リーガロイヤルホテル

●お問い合わせ

大阪アジアン映画祭実行委員会事務局 (広報担当：三原) e-mail : press@oaff.jp

〒530-0014 大阪市北区鶴野町 4 番 B-801 TEL.06-6373-3377 / FAX.06-6373-1213

公式ホームページ <http://www.oaff.jp>